

【 演習C 】

より良い支援のための
連携のあり方

演習 C の進め方

- 演習Cはディスカッションを行う
- 講義5の内容を受けて、自分たちの実践現場の実際を振り返りながら、より良い支援のための連携のあり方について、意見を交わす
- 終了後、全体に戻りグループ発表をする

演習 C の流れ

(精神障害者を支援するための連携について考える)

時間	内容	話し合いのポイント
〇:〇～〇:〇 (15分間)	連携でうまくいっていないこと (発散タイム)	お互いに普段の実践場面で、連携がうまくいっていないと感じること、難しいと感じたことなどを出し合ってみましょう。
〇:〇～〇:〇 (15分間)	連携でうまくいっていること、出来ていること (発散タイム)	気分を変えて今の自分たちで、「できていること」を出し合ってみましょう
〇:〇～〇:〇 (15分間)	明日から取り組めること、明日からやってみたいこと (具体的なアイデア)	「できていること」を少し発展させて、今すぐできることや次にできそうなことを考えてみましょう。 (立派なことを発言しなくてもよいのです。他愛ないこともどんどん出しましょう！)

演習Cのグランドルール

すべし

- 30分に一回は笑う、笑わせる
- 思いついたらすぐ口にしよう
- アイディアは簡潔に述べる、でも他者の話しも良く聴こう
- 行動につながる結論を出す
- 他者の意見から構築しよう
- 集中しよう
- 最後に振り返ろう

すべからず

- 個人攻撃
- 一人が長く喋る
- あげ足をとる
- 居眠り